

・・・市長 ……様  
・・・教育長 ……様

くまもとのタネと食を守る会 ㊤

## 要 望 書

### 貴自治体の福祉施設や教育施設において、ゲノム編集トマトを受け取らないでください 熊本はトマトの生産地です。交雑も心配です

パイオニアエコサイエンス社は、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュハイギャバ」の種苗を、福祉施設や教育施設へ無償配布する計画を発表しました。福祉施設への配布は2022年、教育施設は2023年に開始するとのことです。

ゲノム編集技術は、特定の標的遺伝子を破壊して行う生命の改造です。標的以外の様々な遺伝子を破壊してしまう「オフターゲット」現象がしばしば起きます。無差別な遺伝子の破壊により、新たな毒性やアレルギー、がん誘発物質の発生が危惧されます。遺伝子は生命活動の基本であり、全体が関連しており、壊してよい遺伝子などありません。

また、ゲノム編集が行われたことを確認するための抗生物質耐性遺伝子も含まれているため、抗生物質耐性菌が増える危険があります。遺伝子組み換え食品と同等もしくは、それ以上の危険性を指摘する研究者もいます。

ゲノム編集技術の開放系（実験室外）への放出と食品応用には本来、厳格な検査と規制が必要です。にもかかわらず日本政府は、環境影響評価や食品としての安全性審査、表示も義務づけていません。一方で、特許は認められるので、遺伝子組み換えと同様に種苗等を独占する企業に莫大な利益をもたらします。一般圃場で栽培すれば、花粉などの飛散が起こり、農家の栽培種と交雑するなど、環境への深刻な影響も心配されています。トマト農家などへの風評被害も懸念されます。

■ゲノム編集トマト「シシリアンルージュハイギャバ」に関して、環境への影響を評価する試験や、食品としての安全性を確認する試験が行われていません。自然や生物の健康へ影響を与えてしまうことを強く懸念する消費者団体、農民団体、食の安心安全を求めるNGOは、同トマトをはじめゲノム編集された生物放出と食品の栽培、流通に強く反対しています。

特に「シシリアンルージュハイギャバ」を使ったピューレに原料生産地と表示されている熊本県は有数のトマトの生産地であり、すぐにでも交雑が心配されます。そのような心配に対しパイオニアエコサイエンス社のウェブサイトへ返答が掲載されましたが、交雑しても法的に何も問題ないという趣旨のものでした。県内には有機JASの生産農家が200戸以上いますが、有機JASではゲノム編集は認められていませんので、交雑は有機農家にとって死活問題となります。

今回のゲノム編集トマト種苗の無償配布計画について、安全性が確認されていない食品を子どもたちに食べさせることは許されません。安全性に強い疑念のあるゲノム編集トマト「シシリアンルージュハイギャバ」の種苗を貴自治体内の福祉施設や教育施設が受け取らないことを強く要望いたします。  
(要望書は以上。次ページ参照)

## ■「くまもとのタネと食を守る会」団体会員

(2022年01月27日現在 23団体中 公表可の団体。順不同)

百草園 熊本県農業者連絡会 合同会社有機生活 たねと未来くまもと  
株共同・ママトコキッチン 消費者の会・千草会 (株)竹組 日本ミツバチを守る  
くまもとの会 ビストロ シェ・ル・コパン (有)くまもと有機の会  
グリーンコープ生活協同組合くまもと 自然食品と雑貨の店 pokapoka  
認定こども園・たまきな幼稚園 九州産直クラブ (ドリームグループ)  
NPO 法人くまもと未来ネット 熊本県民主改革協議会  
くまもと生活者ネットワーク・熊本

※個人会員は2022年1月27日現在 58人

## ■役員・監事

### 役員(9人)

代表・田尻和子 (田尻法律事務所)

上田誠一 (熊本県農業者連絡会) 内田朋昭 (たねと未来くまもと・代表) 國本聡子  
(植物染色活動家) 間 司 (有機無農薬・百草園代表) 間 澄子 (環境省・環境カ  
ウンセラー 有機農業) 山下初男 (日本ミツバチを守る会) 吉岡明日香 (主婦)  
吉田 譲 (NPO 法人秀明自然農法ネットワーク理事 (有)秀明ナチュラルファーム熊本代  
表)

### 監事(1人)

古荘洋子 (熊本いのちと土を考える会)

## ■事務局 (連絡・問い合わせ先)

くまもとのタネと食を守る会

住所: 熊本県熊本市北区植木町今藤 1140-1

TEL: 096-273-1917

Mail: [save.seedfoodkuma@gmail.com](mailto:save.seedfoodkuma@gmail.com)

HP/ <https://www.kumatane.com>

## <回答書>

恐れ入りますが、貴自治体の対応をお聞かせいただければ幸いです。

私たちの要望の趣旨をご理解いただき、ゲノム編集生物の種苗等を、開発・販売企業等から受け取らないでいただけますでしょうか。

自治体名：\_\_\_\_\_

ご担当部署・ご担当者：\_\_\_\_\_

ご連絡先：\_\_\_\_\_

- \_受け取らない
- \_受け取る
- \_その他

(いずれの場合も、選択の理由やコメントをお聞かせくださいますか。当会でも引き続き勉強させていただきます)

---

---

---

---

---

---

**回答期限：2022年3月15日(月)**

回答書はファックスまたはメールで事務局までお送りください。

FAX：096-273-1917

Mail：[save.seedfoodkuma@gmail.com](mailto:save.seedfoodkuma@gmail.com)

※回答をいただいた自治体名は公表いたしません。市町村の回答の状況と回答の内容については、公表いたします。